



安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2021/05/21 改訂日: 2025/03/10 バージョン: 3.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: DRIFT - Clay Lube
製品コード	: 115555579
製品グループ	: 取引製品

会社情報

製造業者

Brands Alliance s.r.o.

831 06

BratislavaPri Šajbách 1

T +421244871700

msds@brandsalliance.eu - www.brandsalliance.eu

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する有害性	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない

オゾン層への有害性 分類できない

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
エチルヘキシリ硫酸ナトリウム	0.4371	C8H18O4S.Na	(2)-1679,(2)-2840	既存化学物質	126-92-1
コカミドプロピルベタイン	0.2805	CxHyOz. N	-	-	61789-40-0
酢酸エチル	0.0224	C4H8O2	(2)-726	既存化学物質	141-78-6
アルコール、C9-11、エトキシリ化	0.372	-	-	-	68439-46-3

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

: 皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合

: 予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合

: ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と見なされる。

症状/損傷 皮膚に付着した場合

: 通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 眼に入った場合

: 通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 飲み込んだ場合

: 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療

: 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

: 強い水流は使用しない。

火災危険性

: 火災の危険は一切ない。

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

爆発の危険

: 直接に爆発する危険は全くない。

消火方法

: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。

消火時の保護具

: 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置

: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを作成すること。

非緊急対応者

保護具

: 推奨される個人用保護具を着用する。

応急処置

: 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具

: 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

応急処置

: 不要な職員を退避させる。
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

: 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

: 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
可能であればリスクなく漏出をせき止める。

浄化方法

: 吸收剤の中で拡散した液体を吸収する。

その他の情報

: 物質または固体残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: データなし

安全取扱注意事項

: 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。

接触回避

: データなし

衛生対策

: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

処理時の追加危険有害性

: 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

保管

安全な保管条件

: 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料

: データなし

技術的対策

: 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料

: 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

8. ばく露防止及び保護措置

酢酸エチル (141-78-6)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	酢酸エチル # Ethyl acetate
許容濃度	720 mg/m ³ 200 ppm
規則参照	許容濃度等の勧告 (2021 年度) 産衛誌 63 卷

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 安全メガネ

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR) クロロブレンゴム (CR)	6 (> 480 分)	0,4-0,7		EN 374-2 EN ISO 374 EN ISO 374-1

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 液体
色	: 濃緑色
臭い	: 果実臭
pH	: 約 7
融点	: データなし
凝固点	: < -20 °C
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)
エチルヘキシリ硫酸ナトリウム (126-92-1)	

LD50 経皮 ウサギ	6540 mg/kg 出典: NLM
-------------	--------------------

コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)

急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、約 1,530 mg/kg、2,370 mg/kg の 2 件の報告 (SIDS (2012)) があり、区分 4 と区分外とに該当するが、LD50 値の最小値が該当する区分 4 とした。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。なお、31%水溶液の LD50 値は > 2,000 mg/kg (有効成分換算値として > 600 mg/kg) の報告がある (SIDS (2012))。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 401 (急性経口毒性)
LD50 経口	1530 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 402 (急性経皮毒性)

酢酸エチル (141-78-6)

急性毒性 (経口)	【分類根拠】(1)～(4) より、区分に該当しない。【根拠データ】(1) ラットの LD50: 5,600 mg/kg (ACGIH (7th, 2001))(2) ラットの LD50: 10,100 mg/kg (DFGOT vol.12 (1999))(3) ラットの LD50: 11.3 g/kg (11,300 mg/kg) (IRIS (1987))(4) ラットの LD50: 5,620 mg/kg (環境省リスク評価第 10 卷 (2012))
急性毒性 (経皮)	【分類根拠】(1)、(2) より、区分に該当しない。【根拠データ】(1) ウサギの LD50: > 18,000 mg/kg (SIDS (2008)、DFGOT vol. 12 (1999))(2) ウサギの LD50: > 20 mL/kg (18,000 mg/kg) (環境省リスク評価第 10 卷 (2012))
急性毒性 (吸入:気体)	【分類根拠】GHS の定義における液体であり、ガイダンスの分類対象外に相当し、区分に該当しない。

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酢酸エチル (141-78-6)

急性毒性 (吸入:蒸気)	【分類根拠】(1)、(2)より、区分 4とした。なお、ばく露濃度が飽和蒸気圧濃度 (123,000 ppm) の 90%より低いため、ミストがほとんど混在しないものとして ppm を単位とする基準値を適用した。【根拠データ】(1) ラットの LC50 (4 時間): 14,640 ml/m ³ (14,640 ppm) (DFGOT vol.12 (1999))(2) ラットの LC50 (6 時間): 16,000 ppm (4 時間換算値: 19,600 ppm) (HSDB (Access on September 2019)) 【参考データ等】(3) ラットの LC50 (4 時間): 4,000 ppm (HSDB (Access on September 2019))(4) ラットの LC50 (6 時間): > 6,000 ppm (4 時間換算値: 7,300 ppm) (SIDS (2008))
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	11.3 ml/kg 出典 : ECHA
LD50 経口	4934 mg/m ³ 動物 : ウサギ、ガイドライン : OECD ガイドライン 401 (急性経口毒性)
LD50 経皮 ウサギ	> 20000 mg/kg BW 動物 : ウサギ、動物の性別 : 男性
LC50 吸入 - ラット (蒸気)	52.75 mg/l/4h

アルコール、C9-11、エトキシリ化 (68439-46-3)

LD50 経口 ラット	1378 mg/kg 出典: Thomson Micromedex の企業ソリューション
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg bw/day 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 402 (急性皮膚毒性)
LD50 経皮 ウサギ	2000 nl/kg 出典: Thomson Micromedex の企業ソリューション
LC50 吸入 - ラット	> 1.6 mg/l air 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 403 (急性吸入毒性)

皮膚腐食性／刺激性 : 区分に該当しない

DRIFT - Clay Lube

pH	約 7
コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギの OECD TG 404 に準拠した皮膚腐食性試験が多数報告されており、いずれも軽度の刺激性であることから (SIDS (2012)) 区分外とした。

酢酸エチル (141-78-6)

皮膚腐食性／刺激性	【分類根拠】(1)、(2)より、区分に該当しないとした。【根拠データ】(1) US Federal Register protocol に準じウサギの皮膚に 4 時間半閉塞適用を行った皮膚刺激性試験で皮膚反応はみられなかった (REACH 登録情報 (Access on October 2019))。 (2) 入手可能な情報では、皮膚及び眼に刺激性は示さない (SIDS (2008))。 【参考データ等】(3) 本物質の 1 時間 × 6 日間の反復適用は皮膚の脱脂と角質層のダメージを引き起すが、本物質の 10%ワセリン調製物の 48 時間閉塞適用は皮膚刺激を生じない (DFGOT vol.12 (1999))。 (4) 本物質の反復閉塞適用は皮膚に刺激性を示す (DFGOT vol.12 (1999))。
-----------	--

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

DRIFT - Clay Lube

pH	約 7
----	-----

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギを用いた眼刺激性/腐食性試験 (OECD TG 405 準拠) が多数報告されており、いずれも中程度の刺激性と評価されているが、虹彩と結膜への影響が21日内に回復しなかった (SIDS (2012)) との記載があることから区分1とした。
酢酸エチル (141-78-6)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	【分類根拠】(1)～(3)より、区分2Bとした。【根拠データ】(1)ウサギを用いた眼刺激性試験において一過性の刺激性が認められ、24/48/72hの合計スコア(最大110)は、18、4、2であり、7日までに全ての反応は消失した。改変最大平均スコアは15(最大値=110)であった(ECETOC TR48 (1998)、SIDS (2008)、REACH登録情報(Access on October 2019))。(2)本物質は400 ppmでヒトに対し、眼、鼻、喉に刺激性を示す(ACGIH (7th,2001)、HSDB (Access on September 2019))。(3)本物質は眼と呼吸器に刺激性を有する(PATTY (6th, 2012)、GESTIS (Access on September 2019))。【参考データ等】(4)EU-CLP分類でEye Irrit. 2 (H319)に分類されている(EU CLP分類(Access on September 2019))。(5)本物質は1500 mL/m ³ 以上でヒトに対し、眼、鼻、喉に刺激性を示す(DFGOT vol.12 (1999))。(6)入手可能な情報では本物質は、皮膚及び眼にも刺激性は示さない(SIDS (2008))。
呼吸器感作性	: 分類できない
コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
酢酸エチル (141-78-6)	
呼吸器感作性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: 分類できない
コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
皮膚感作性	SIDS (2012)には、モルモットを用いた皮膚感作性試験(マキシマイゼーション試験、ドレイズ法による試験等)の結果が4試験あり、3試験では陰性の結果が出ている。1試験のみ20匹中4匹に陽性がみられており、SIDS (2012)では不純物に起因することを指摘している。また、ヒトに対する本物質の感作性は低いとの記載がある。以上の結果に基づき、区分外とした。
酢酸エチル (141-78-6)	
皮膚感作性	【分類根拠】(1)、(2)より、区分に該当しないとした。【根拠データ】(1)OECD TG406に準拠したモルモットを用いた皮膚感作性試験(guinea pig maximisation test)において陰性であった(SIDS (2008))。(2)入手可能な情報では本物質は皮膚感作性物質ではなく、皮膚及び眼にも刺激性は示さない(SIDS (2008))。【参考データ等】(3)本物質の感作性の報告はあるが、希である(HSDB (Access on September 2019))。(4)本物質のヒトでの研究及びその構造から、皮膚感作性は示唆する情報はない(DFGOT vol.12 (1999))。
生殖細胞変異原性	: 分類できない
コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。すなわち、in vivoデータではなく、in vitroでは細菌の復帰突然変異試験で陰性である(IUCLID (2000))。

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酢酸エチル (141-78-6)	
生殖細胞変異原性	【分類根拠】(1)、(2) より、in vivo、in vitro 試験を含む標準的組合せ試験でいずれも陰性であったことから、ガイダンスにおける分類できないに相当し、区分に該当しない。【根拠データ】(1) in vivo では、経口投与及び腹腔内投与によるマウス及びハムスターの骨髓細胞を用いた小核試験で陰性の報告がある (DFGOT vol.12 (1999)、SIDS (2008))。(2) in vitro では、細菌の復帰突然変異試験及び哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性の報告がある (DFGOT vol.12 (1999)、NTP DB (Access on September 2019)、SIDS (2008)、環境省リスク評価第 10 卷 (2012))。
発がん性	: 分類できない
コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
発がん性	データ不足のため分類できない。
酢酸エチル (141-78-6)	
発がん性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: 分類できない
コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
生殖毒性	ラットを用いた経口経路（強制）での発生毒性試験（OECD TG414）において、母動物毒性（死亡（1/21 例が妊娠 15 日に死亡）、異常な体位（13/21）、立毛（2/21）、運動量の減少、体重減少（対照群の最大 17% 減）、胃の潰瘍（2/21）、粘膜の肥厚（20/21））が 3,300 mg/kg/day（活性成分 950 mg/kg/day 相当）でみられ、この用量で吸收胚の増加、生存胎児の減少、胎児体重の減少がみられた。なお、この下の用量である 990 mg/kg/day（活性成分 286 mg/kg/day 相当）では母動物毒性はみられるが児の発生に影響はみられていない（SIDS (2012)）。以上のように母動物に影響がみられる用量においてのみ胎児に影響がみられたことから区分 2 とした。なお、生殖能に関するデータは得られていない。
NOAEL(動物/メス、F0/P)	300 mg/kg BW 動物: ネズミ、動物の性別: メス、ガイドライン: その他:
NOAEL(動物/メス、F1)	1000 mg/kg BW 動物: ネズミ、動物の性別: メス、ガイドライン: その他:
酢酸エチル (141-78-6)	
生殖毒性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットの経口投与試験において、ガイダンスの範囲外の用量（5-10 g/kg）で回復性の自発運動低下、運動協調性欠如、姿勢異常、立毛がみられた（SIDS (2012)）ため区分 3（麻酔作用）とした。

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酢酸エチル (141-78-6)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

【分類根拠】ヒト及び実験動物での(1)~(4)の情報より、区分3(麻醉作用、気道刺激性)とした。【根拠データ】(1)ボランティア10人に本物質400 ppmを3~5分間吸入ばく露した試験で、被験者が眼、鼻、喉の刺激を訴えたとの報告がある(DFGOT vol.12 (1999)、ACGIH (7th, 2001))。(2)男性ボランティア16人に本物質402 ppmを4時間ばく露した試験で、被験者がばく露時間内に眼や口、喉の刺激を訴えたとの報告がある(環境省リスク評価第10巻(2012))(3)ネコの単回吸入ばく露試験において、本物質20,000 ppm、45分間のばく露で深麻酔状態に至ったが回復したとの報告がある(ACGIH (7th, 2001))。(4)ラットの6時間単回吸入ばく露試験において、自発運動喪失などの典型的な中枢神経系抑制の症状が認められたが、最大6,000 ppm (22.5 mg/L)まで死亡例はなかったとの報告がある(SIDS (2008))。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 分類できない

エチルヘキシリ硫酸ナトリウム (126-92-1)

NOAEL (経口、ラット、90日)

488 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン408 (げっ歯類における反復投与90日間経口毒性)

コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ラットに90日間強制経口投与した試験において、区分2のガイダンス値範囲を上回る用量(150 mg/kg/day)で、前胃の組織変化(雌雄)が、また最高用量(300 mg/kg/day)で、尿潜血陽性例の頻度増加(雄)がみられたのみである(SIDS (2012))。よって、経口経路では区分外相当であるが、他の経路での毒性情報がなく、データ不足のため分類できないとした。

酢酸エチル (141-78-6)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

【分類根拠】(1)より、経口経路については区分に該当しない。吸入経路については、(2)のラットの吸入ばく露で区分1の範囲内で呼吸器への影響を示す結果があるものの、(3)では、(2)より高い濃度でヒトにおいて症状がみられなかつたと報告されていることから、区分に該当しないと考えられる。【根拠データ】(1)ラットに90日間経口投与した結果、3,600 mg/kg/dayで体重増加抑制、摂餌量減少がみられたのみであった(SIDS (2008)、環境省リスク評価第10巻(2012))。(2)ラットに13週間吸入ばく露(6時間/日、5日/週)した結果、350 ppm(ガイダンス値換算: 0.9 mg/L、区分1の範囲)以上の雌雄で鼻(嗅上皮)でごく軽微から中程度の変性がみられた(環境省リスク評価第10巻(2012))。(3)375~1,500 ppmの濃度で数ヵ月間ばく露された作業者で症状はみられなかつた(ACGIH (7th, 2001))。

LOAEL (経口、ラット、90日)

3600 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: EPA OTS 795.2600 (亜慢性経口毒性試験)

NOAEL (経口、ラット、90日)

900 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: EPA OTS 795.2600 (亜慢性経口毒性試験)

アルコール、C9-11、エトキシリ化 (68439-46-3)

NOAEL (経口、ラット、90日)

≥ 500 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン408 (げっ歯類における反復投与90日間経口毒性)

誤えん有害性

: 分類できない

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
酢酸エチル (141-78-6)	
誤えん有害性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期（急性）	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分に該当しない

エチルヘキシリ硫酸ナトリウム (126-92-1)	
EC50 72h - 藻類 [1]	> 511 mg/l 試験生物（種）: Desmodesmus subspicatus (旧名: Scenedesmus subspicatus)
EC50 72h - 藻類 [2]	511 mg/l 試験生物（種）: Desmodesmus subspicatus (旧名: Scenedesmus subspicatus)
EC50 96h - 藻類 [1]	13859.488 mg/l 出典: ECOSAR
LOEC (慢性)	6.86 mg/l 試験生物（種）: オオミジンコ 期間: 21 日
NOEC (慢性)	1.4 mg/l 試験生物（種）: オオミジンコ 期間: 21 日
NOEC 魚 慢性	≥ 1.357 mg/l 試験生物（種）: Pimephales promelas 期間: 42 日

コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
水生環境有害性 短期（急性）	藻類 (Scenedesmus subspicatus) の 72 時間 ErC50 = ca. 1.3 mg/L (SIDS, 2012) から、区分 2 とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	急速分解性があり (BOD による分解度: 86-93% (SIDS, 2012))、藻類 (Scenedesmus subspicatus) の 72 時間 NOEC = ca. 0.09 mg/L (SIDS, 2012) であることから、区分 2 とした。
LC50 - 魚 [1]	2 mg/l 試験生物（種）: Danio rerio (旧名: Brachydanio rerio)
ErC50 藻類	1.3 mg/l
NOEC 藻類 慢性	0.09 mg/l

酢酸エチル (141-78-6)	
水生環境有害性 短期（急性）	甲殻類 (ミジンコ) 48 時間 EC50 = 262 mg/L、魚類 (ファットヘッドミノー) 96 時間 LC50 = 230 mg/L (いずれも環境省リスク評価第 10 卷, 2012) であることから、区分に該当しないとした。

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酢酸エチル (141-78-6)	
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり (28 日での BOD 分解度=66, 112, 105% (通産省公報, 1993)) 、甲殻類 (オオミジンコ) の 21 日間 NOEC = 2.4 mg/L (ECETOC TR91, 2003) であることから、区分に該当しないとなる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性があり (28 日での BOD 分解度=66, 112, 105% (通産省公報, 1993)) 、log Kow = 0.73 (KOWWIN) であり、魚類の急性毒性データが区分に該当しない相当であることから、区分に該当しないとなる。以上の結果から、区分に該当しないとした。
LC50 - 魚 [1]	230 mg/l 試験生物 (種) : Pimephales promelas
EC50 - 甲殻類 [1]	262 mg/l
NOEC (慢性)	2.4 mg/l 試験生物 (種) : Daphnia magna 期間: 「21 日」
NOEC 甲殻類 慢性	2.4 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.73 出典: ICSC

アルコール、C9-11、エトキシリ化 (68439-46-3)	
LC50 - 魚 [1]	5 – 7 mg/l 試験生物 (種) : Oncorhynchus mykiss (旧名: Salmo gairdneri)
EC50 - 甲殻類 [1]	2.5 mg/l 試験生物 (種) : Daphnia magna
EC50 96h - 藻類 [1]	1.4 mg/l 試験生物 (種) : Pseudokirchneriella subcapitata (以前の名前: Raphidocelis subcapitata、Selenastrum capricornutum)

残留性・分解性

DRIFT - Clay Lube	
残留性・分解性	急速分解性でない
エチルヘキシリ硫酸ナトリウム (126-92-1)	
残留性・分解性	急速分解性でない
コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
残留性・分解性	急速分解性
酢酸エチル (141-78-6)	
残留性・分解性	急速分解性
アルコール、C9-11、エトキシリ化 (68439-46-3)	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

DRIFT - Clay Lube	
生体蓄積性	データなし
酢酸エチル (141-78-6)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.73 出典: ICSC

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

土壤中の移動性

DRIFT - Clay Lube	
土壤中の移動性	データなし
酢酸エチル (141-78-6)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.73 出典 : ICSC

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

- 推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

- 国連番号(UN RTDG) : 非該当
正式品名 (UN RTDG) : 非該当
容器等級(UN RTDG) : 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

- 化審法 : 優先評価化学物質（法第2条第5項）
労働安全衛生法 : 作業環境評価基準（法第65条の2第1項）
危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）
【改正後 令和7年4月1日以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9）
（3-アミノプロパン-1-イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN-ココアシル誘導体内部塩 (5%未満)

安全データシート

DRIFT - Clay Lube

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

	特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第66条第2項、施行令第22条第1項）
水質汚濁防止法	：指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）
消防法	：第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
悪臭防止法	：特定悪臭物質（施行令第1条）
大気汚染防止法	：揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達）
海洋汚染防止法	：危険物（施行令別表第1の4） 有害でない物質（施行令別表第1の2） 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）
外国為替及び外国貿易法	：輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認）
道路法	：車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	：特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号）
労働基準法	：疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。